

令和7年1月24日

保護者様

京都市立上賀茂幼稚園
園長 村山 得太郎

幼稚園評価の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。1月もあと1週間となりました。昨日は、マラソン大会にご協力いただきありがとうございました。様々な行事を通して子どもたちは一段と成長してくれたと思います。

さて、10月の運動会後に実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございました。大変大変遅くなりましたが、評価アンケートの結果をグラフ化し、別紙にまとめましたのでご覧ください。分析につきましては、学校運営協議会の皆様にもご意見をお聞きし、領域ごとに行いました。また、アンケートについては、前回よりさらに記述を増やし、幼稚園のことや運動会のこと、そして子育て支援などについて、思ったことをそのまま記入していただけるようにしました。アンケート結果や記述のご意見を参考にし、幼稚園の保育の充実を図り、子育て支援を通して園児数の増加を目指して取り組んでいきたいと思っています。

【子どもの様子】

◆幼稚園の保育を通して身に付けてほしい力の中で6項目の様子をお尋ねしました。ほとんどがAかBの評価でしたが、C評価が多かった項目は「⑥困ったことや難しいことに対してもあきらめずに取り組んでいる」でした。幼稚園では、ゆり組の竹馬について親子製作で作成し、運動会で自分ができるところまで発表するようにしています。誰もが、簡単には乗れないのですが、自分自身の頑張りや周りの子どもたちの刺激、先生の声かけなどで乗れるようになっていきます。おうちでの取組もしてくださっていたと思います。それに対して一輪車はできるまで挑戦し続けた園児もいれば、すぐあきらめた園児もいます。気持ちの問題が大きいので、子どもがやる気になるような環境設定や教師の援助が必要になってきます。子どもたちは急に取り組み始めたり、急にできるようになったりします。子どもの取組も保育も試行錯誤の連続です。「あきらめず取り組む気持ちを育てる」にはどうすればいいか、研修を深めていきたいと思っています。また、A評価が多くなったのは「③身近な生き物や植物などに興味をもち、大切に作る気持ちをもっている。」という項目でした。昨年度に比べて、当番などを通してウサギなどの動物に触れる機会が増えたことが原因だと思います。それをおうちでたくさんお話をされているのではないかと思います。

【幼稚園の取組】

◆「⑧幼稚園は健康面や安全面に注意を払って保育している」について、C評価が2つあり、また、記述でもご意見をいただいています。一つは日常で見られる三輪車の乗り方が危険だというご指摘でした。ゆり組ともなると結構速いスピードで乗ることができ、スピードを楽しむようになってきます。大切なのは、大人が園庭で入るコースやスピードを見て子どもたちにお話することです。クラスでは、ブランコ周辺の遊びも含めて安全指導を行いました。全教職員で子どもたちの動きを確認し、見守りを続けていきたいと思っています。もう一つは運動会の「帽子取り」が危険だったということです。今年のゆり組は去年のしっぽ取りを進化させて取り組んできました。運動会前の遊びでは当日のような危険性は感じなかったのですが、本番はみんな力が入り、帽子を取りたいあまり、

相手のことを考えないで体がぶつかったり、手で押したりすることがありました。体をぶつけたり、手を使って押したりしないなどのルールを考えさせて取り組むべきだったと反省しています。今後ともお気づきのことがありましたらお知らせください。それ以外の項目では、「そう思う」、「だいたいそう思う」の回答を合わせてほぼ 100%の評価をいただきました。保育について評価していただいていることはとてもありがたいことだと思いますが、まだまだ至らぬことや改善点があると思います。保育の内容についても研修を重ねることで、回答の結果に甘んじることなく、毎日子どもの心に届くよう丁寧に保育をしていきたいと思っています。保育の在り方、子どもたちの様子、子育てで気になることや困っていることなどがありましたら、遠慮なく相談してください。保護者の皆さんと幼稚園とが協力し合って子どもたちを育てていきたいと考えています。

【家庭での取組】

◆「⑬会話やコミュニケーションを大切にしている」という項目でA評価が減ってB評価が増えました。親として十分に子どもと話ができていないのではないかと、という自己評価ですが、幼稚園で見ている限りでは、不安になるような要素はないと思います。ご家庭での安定した様子が、幼稚園での生活の支えになっています。今後ともよろしくお願いいたします。

【地域や学校との連携】

◆「⑲地域の方と行事や取組でよく関わっていると思う。」「⑳地域や地域の人に親しみをもっている」の項目で、昨年度後期より、A評価が減り、B評価が増えました。式や運動会には学校運営協議会の皆様を中心に地域の方にも足を運んでいただいています。通常保育の時や保護者が参加できる行事の時にご案内していきたいと思っています。研究保育には上賀茂小学校の校長先生、教務主任の先生、架け橋主任の先生、柊野小学校の校長先生、元町小学校の校長先生にも来ていただき、ご意見を頂戴しました。小学校との連携では、教職員がそれぞれの学校・園を行き来しやすいうように取組を進めて行くことが大切だと考えます。今年度も年長児が上賀茂こども園の園児さんとともに小学校の様々な学年の児童と交流活動を実施することができました。子どもたちは小学校のお兄さん、お姉さんと会うのを楽しみにしています。また、小学校とはどんなところか、上賀茂小学校に進学しない園児もいますが、他の小学校でも様子や雰囲気はそんなに変わらないと思います。見通しをもって入学できるので今後も続けていきたいと思っています。中学校からは2校、2年生がチャレンジ体験に来てくれました。さらに加茂川中学校3年生が家庭科の保育実習に来てくれました。子どもたちはお兄さんお姉さんと遊ぶのが大好きでとても喜んでいました。中学生も学校ではなかなか見られない表情で子どもたちと遊んでくれていたようです。お互いにいい経験になったと思います。地域行事では昨年に引き続き学区民夏祭りでステージ発表の場を提供していただきました。幼稚園PTAもスーパーボールすくいのブースで参加し、大盛況でした。

◆自由記述欄につきまして、様々なご意見・ご質問ありがとうございました。今後の園運営の参考にさせていただきます。また、ご質問等に関しましては、個別にお答えさせていただきます。今後ともお気づきの点がございましたら、登降園の際、お話していただくか、アプリのメールでご連絡ください。よろしくお願いいたします。

★学校評価を行う理由（京都市教育委員会ホームページより）…社会情勢や子どもを取りまく環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々が子どもを育てる当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることが不可欠です。「学校評価」は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。